

(1) 州の概要

- 経済規模は、アイルランド、スウェーデン、ベルギーより大きい豊かな州。
- 欧州有数のハイテク産業集積地。主要産業は自動車産業、機械工業、医薬品。観光業も盛ん。優良な中小企業が多数。
- 研究開発に重点（特許出願件数（2025年）：全独の35.8%（1位/16州）。バイオテクノロジー、IT、エネルギー・環境関連産業が重点）。2026年に実施された独エリート大学選考で10校中3校がBW州から選出。
- 伝統的に保守が強く、キリスト教民主同盟(CDU)が1953年以降一貫して州政権与党であったが、福島原発事故を受けた国内原発廃止論を追い風に緑の党が2011年3月の州選挙で大躍進を遂げ、緑の党のクレッチマン州首相を首班とする社民党(SPD)との連立政権成立。緑の党の中でも現実派とされ有識者の支持が高い同州首相の下、2016年3月の選挙では緑の党が第一党となりCDUとの連立政権成立。2021年3月の選挙後、緑の党とCDUの連立政権が継続。2026年3月の選挙では僅差で緑の党が第1党、CDUが第2党となり、同年5月に緑の党のエズデミル州首相率いる連立政権（緑の党とCDU）が発足。
- 大企業：メルセデス・ベンツ、ホルンエ、ボッシュ、SAP、ZF等。

(2) 日本との関係

- 在留邦人数：6,296人（2025年10月）
- 日系企業拠点数：266拠点（2025年10月）
- 対日貿易：輸出約41億ユーロ 輸入約31億ユーロ（2025年）
- 姉妹都市・友好関係：13都市（特に、2024年に35周年を迎えた神奈川県とBW州、35年に亘る交流を続ける松山市とフライブルク市、30年以上続く熊本市とハイデルベルク市等）
- 政府間・議員間交流
- ✓ 州政府要人の訪日：クレッチマン首相（2013年。当時連邦参議院議長）、ホフマイスター＝クラウト経済大臣（2018年2月。インダストリー4.0に関する覚書が業界団体間で調印された他、BW州駐日代表を新設）、ハウク農業大臣（2023年9月）、州議会学術・芸術委員会（2024年3月。オルショウスキ学術・教育大臣参加）、ヘルマン交通大臣・ハスラー首相府政務次官（2025年3月）。
- ✓ 2014年、2024年、黒岩神奈川県知事が友好関係25周年、35周年の際にBW州を訪問。
- ✓ 2022年、西銘復興大臣がBW州を訪問。
- ✓ 2022年、武部農林水産副大臣がBW州で開催されたG7農業大臣会合に参加。
- ✓ 2025年、神奈川県議会議員団がBW州を訪問。



(3) 基本的事項

- 人口：1,124万人（3位/16州、2025年）
- 面積：35,748km²（3位/16州、2023年）
- GDP：6,671億ユーロ（3位/16州、2025年）
- 成長率：-0.6%（全独0.2%、2025年）
- 失業率：4.6%（全独6.3%、2025年）
- 州都：シュトゥットガルト（人口61万人、2025年12月）
- 州首相：ジェム・エズデミル（緑の党）